

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers

第7号 (2012. 5.17)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

兼任教員紹介及びセンターで行う事業内容について

この度 4 月より実地教育部門の兼任教員として配属されました、小山宏之と申します (体育学科と兼任)。本大学には昨年 10 月に体育学科教員として赴任したばかりですが、大学が推進する事業のメンバーとして、教育支援センターにおいても活動を行うことになりました。赴任前は、筑波大学においてオリンピックでメダルをとるためのトップアスリートに対する科学的サポート、大学体育を統括するセンターにおいて授業運営および大学体育カリキュラムの改革に関する研究などを行っていました。

教育支援センターでは、実地教育部門の一事業として「京都教育大学学校運動部活動指導者育成事業」を主に担当していきます。この事業は、近年の子どもの体力や運動能力の低下、中・高等学校の部活動を指導できる教員の不足、指導力の低下、スポーツの指導に関する専門的知識や運動経験に乏しい教員も運動部活動指導を行う現状を踏まえ、大学に在籍する全ての学生を対象に、運動部活動や体育行事を安全に効果的に指導できる実践的指導力、マネジメント力を持つ教員を育成するプログラムを提供していくものです。育成プログラムで一定の評価を得た学生に対しては、大学が独自に認定する「学校運動部活動指導者資格」を発行し、学校現場へと輩出していきます。

本育成プログラムでは、指導力やマネジメント力を学ぶフィールドとして京都教育大学地域スポーツクラブ (KYO² クラブ) の活用、学校現場において運動部活動の指導や運営に高い評価を持つ退職教員による実地指導など、大学と地域との連携の中で学生の育成を行っています。

今後は学生の育成に加え、新たな形で事業を発展させていくことも視野に入れております。今後とも、どうかよろしく願いたします。

学生ボランティアについて

昨年度 (平成 20 年度) は約 240 名のボランティア登録があり、のべ 265 の学校園、教育施設での活動が行われました。活動報告書には、「実習を行った附属校とは違う公立校の様子を知り、大変勉強になった」「子どもたちの様子を余裕を持って見られることで、4 月からの教員生活への大きな自信につながりました」「授業を多く見せてもらい、勉強になりました」「先生方や子どもたちが温かく迎えてくれたので、毎回行くのが楽しみでした」などの感想が寄せられています。

時間的な制約もあり、大学が準備している 4 年間のカリキュラムの中で実地教育は、限定的です。学生ボランティア活動を活用することで、「体験と省察」の繰り返しの強化が図られるでしょう。

多くの学生の参加が望まれます。

ボランティア活動に関して、学生に周知していただきたいこと～手続きフローとともに～

1. 学生が公立学校等でボランティア活動をする場合、必ず、教育支援センター内の地域支援推進室で登録するようお願いいたします。正式に大学に登録しておくこと、例えば、教員採用試験の書類作成の際に、ボランティア活動の実施について大学側で承認することができ、就職にとって有利に働く場合があります。
2. 京都府内だけでなく、さまざまな地域での多様な学校ボランティア (時間的にも) を紹介することができますので、興味関心を持っている学生には、ぜひ、一度、地域支援推進室に入室するようお声かけください。

【教育支援センター内：地域支援推進室】

受付時間 月曜日・木曜日 11 時～14 時 金曜日 11 時～15 時

〈 連絡先 〉 Tel 075-644-8336 E-mail sien@kyokyo-u.ac.jp 河内 (かわち)

公立学校等におけるスクールボランティア活動の手続き

(登録) 教育支援センター内の地域支援推進室
あるいは、教務課6番窓口

資料の閲覧

(学生が活動校を選択する) 教育支援センター内の地域支援推進室に報告

(公立学校で面談) → (活動校の正式決定)

(活動開始)

教育について考えるシンポジウム/セミナー/ワークショップ等について

“性と生”について学ぶ「人権に基づく性教育」シリーズ⑥ (本年度初)

テーマ：割り切れなさを生きる ～“性分化疾患/インターセックス”～

日時：2012年5月19日(土)13:30～16:00

場所：教育支援センター 1階 共同利用室

内容：2000人にひとりと言われる“性分化疾患/インターセックス”。そのあり方は様々。それを理解するために、基礎知識を学び、当事者とその家族の思いから、社会にある課題や“個を大切にすること”について学びます。セクシュアルマイノリティのなかでも“性分化疾患/インターセックス”についての系統立てたお話を聴く機会はまだまだ多くありません。ぜひ、ご参加下さい。

講師：ヨヘイルさん(“人間と性”教育研究協議会会員)

「性分化疾患/インターセックス」について先進的なアメリカの状況を学びながら、日本の当事者と彼らのおかれた実態についても調査・研究されています。

問い合わせ：教育支援センター 関口研究室 (075-644-8326 sekihisa@)

留学生交流演習室のboard deco

教育支援センター1階にある留学生・地域交流演習室ホワイトボードに、本学幼児教育学科のみなさんが、可愛い貼り絵をしてくれています。出入り自由の部屋ですので、センターへお越しいただき、学生たちの力作をご覧下さい。



教育支援センター スタッフ

センター長 (併)

教育実践連携部門

実地教育部門

実地教育部門 (兼任)

モラル・人権意識向上教育部門

特任教員(京都市教育委員会)

特任教員(京都府教育委員会)

事務補佐員 センター全般

事務補佐員 地域支援推進室

事務補佐員 留学生・地域交流演習室

水山 光春

樋口とみ子

小林 稔

小山 宏之

関口 久志

桶谷 守

竹花 裕子

杉本 恭子

河内真由美

075-644-8281 mizuyama@

075-644-8337 tomiko@

075-644-8229 mkoba98@

075-644-5303 koyama@

075-644-8326 sekihisa@

075-644-8214 oketani@

075-644-8216 yuko627@

075-644-8335 kyoko@

075-644-8336 sien@

月・木10時-13時、金12時-16時

(16時15分-17時15分) 鄭紫薇 (月・火・木) (水・金)

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp

